



## イヌの種類と、どんな役に立っているかを教えて

### 世界中で350～400種のイヌがいる

人間がイヌを飼い始めたのは、今から1万年以上前だったといわれています。イヌの先祖は、オオカミだったといわれていますが、まだ、はっきりわかりません。

イヌは大昔から人間に飼われて、いろいろ改良されてきたこともあって、種類も多くなり、体の大きさや、体の特長もさまざまになってきました。

大きさで見ると、いちばん小さいチワワは、体の高さが15～20センチメートル、体重はたった0.5～2.5キログラムですが、いちばん大きく体重が重いセント・バーナードは、体の高さが90センチメートル、体重110キログラムにもなります。

### イヌはこんなに役立っている

イヌは、人間にとっていろいろ役立っています。まず、友達がわりになるペット、あやしい人がくればほえる番犬、鼻のよさで活やくしている警察犬、麻薬を発見する麻薬犬、目の不自由な人を手助けする盲導犬、耳の不自由な人のための聴導犬、などが身近にいます。

いざというとき活やくするイヌとして、かりをするときに役立つ猟犬、ヒツジなどの番をする牧羊犬、山や海でそう難した人や、災害のとき、つぶれた家の下じきになった人を探し出して助ける救助犬などもあります。

シバイヌやアキタイヌは番犬、ポメラニアン、マルチーズ、ダックスフント、チワワなどはペット、かしく鼻もいいシェパードは警察犬や麻薬犬、ラブラドルレトリバーは盲導犬、として役立っています。コリーは牧羊犬、山のそうなん救助犬としてセント・バーナードが有名です。（監修・今泉 忠明）

